

2011（平成23）年度前期DUOリーグ会議①議事録

【日時】 2011（平成23）年2月27日（日） 17:00～20:00

【場所】 筑波大学附属高校会議室

【出席】（代表者名。下線は遅刻）

都小石川（長山）、昭和一（永井）、三菱養和（山本）、京華（小金丸）、都向丘（末吉）、筑波大附（中塚）、学習院（玉生）、豊南（林）、本郷（都丸）、城西（嶋野）、豊島学院（北爪）、郁文館（井上）、駒込学園（宮坂）、巣鴨（山中）、立教池袋（橋本）、獨協（神宮司）、都豊島（江口）、淑徳巣鴨（神蔵）、都竹早（蓑田）、日大豊山（亀井）、都文京（森下）、都足立（安藤）、都江北（玉山）、足立学園（伊藤）、都荒川商（蓑輪）、文京区中学生選抜（丸山）、FC西巣鴨03（岸弘）

【オブザーバー：選手】

三井・遠山（筑波大附属）

【オブザーバー：一般】

本郷（獨協）、松本（日大豊山）、加藤（中央大学高校）、池上（豊南）、藤原・栗原（東京リゾスポ）、土谷・佐藤（スキンプロジェクト）、岸（卓）・三ツ矢（事務局）

【議事録作成】三ツ矢・岸（事務局）&中塚確認・修正

【議題】

I. 2010年度後期（第30回）DUOリーグ・その後（報告・審議）

II. 各部門よりー2010年度報告・2011年度審議

1. 事業部門（玉生）

1) 競技部（各リーグ責任者） 2) 審判部（◎城西・都文京・巣鴨） 3) 技術部（◎郁文館・都豊島・都小石川）

2. 管理部門（神宮司）

1) 経理部（◎豊南・都向丘・足立学園） 2) 広報部（◎淑徳巣鴨・日大豊山） 3) 規律部（◎豊島学院・京華）

3. 企画部門（丸山）

1) 地域活動推進部

・文京区（◎昭和一・駒込・都竹早）・豊島区（◎立教池袋・FC西巣鴨03）・足立区（◎都足立）

2) 医・科学活動推進部（◎都江北・三菱養和・本郷）

3) スキンプロジェクト推進部（◎理事会）

III. DUOリーグ・スタッフ会議報告&審議

1. 2011年度のリーグ編成・期間と昇降格の考え方

2. 2011～2012年度の運営組織

3. リサイクルプロジェクトの推進

<DUOリーグ会議ダイジェスト（決定事項を中心に。詳細は下記参照。）>

◆新規加盟：中央大学高校 ・2部 MVP：堀江人志（都立荒川商業高校）

◆2011年度のリーグ構成（図参照）

・前期は1部、2部ともに8チーム×2リーグ、各リーグは8チームで構成する。

・後期1部は上位と下位に分かれ、いずれも8チームで構成する。

・後期下位リーグには、前期2部リーグの上位2チームが昇格する。前期1部リーグの下位2チームは自動降格する。

・上位の「プレミアリーグ」と下位の「後期1部リーグ」を、広い意味で「1部リーグ」とする。

後期1部優勝トロフィーは、プレミアリーグの優勝チームに渡す。

◆実施要項

- ・試合時間や参加資格などのレギュレーションについて、プレミアリーグは地区トップリーグにあわせた形で設定する。後期リーグ前（前期末）のDUO会議にて決定する。
- ・前期リーグの実施要項も、実態に合わせて記述を見直す。これについてはチェアマン預かり。

◆リーグ期間

- ・前期リーグの試合は7月15日まで。17日にDUOリーグ会議
- ・前期リーグの開始は、文書の上では4月1日であるが、例年通り3月末から実施してよい。
- ・後期リーグの試合消化は年内OKとする。

◆同一クラブから複数チームが参加する場合

- ・チーム名は、誰が見てもトップチームがどのリーグにいるか分かるものにする。
- ・どのチームの試合結果かわかるよう、「〇〇A」「〇〇B」まで含めてチーム名を報告する。
- ・移籍の考え方は従来通りだが、「上位リーグの試合に常時出場しているプレーヤーの出場は、原則として認められない」という文言が実施要項に「補足」として加えられる。

◆リバーサイド1部の選抜とDUO1部の選抜で7月17日に試合を行う方向で調整する。

◆「スキンプロジェクト」を「リサイクルプロジェクト」に改名し、各クラブが主体的に取り組めるよう、中身を見直す。前期末のDUO会議にて回収袋を各チームに配布する。

◆運営面

- ・参加費、加盟費未納クラブは大至急支払うこと！
- ・運営組織の見直しを行う。
- ・各リーグで試合日程と役割を決め、メーリングリストで流す。

議題 I . 2010 年度後期（第 30 回）DUO リーグ・その後（報告・審議）

中塚：まず、中央大学高校が新規加盟を希望されるということで一昨日お電話をいただきました。まずはここで様子を知ってもらいたいということ、来ていただきました。

先日スタッフ会議を開きました。そこで3つの大きな議題について議論しました。各部門からの議題の前に、「2011年度のリーグ編成・期間と昇降格の考え方」のところを先にやり、次に「各部門から」をやり、「運営組織」「リサイクルプロジェクト」という風に進めて行こうと考えています。

玉生：年末のDUO会議以降に行われた事業は、2部のチャンピオンシップと1部リーグ参入戦です。いずれも1日で3チームが40分ずつゲームを行う「三つ巴戦」になりました。2部チャンピオンシップの結果、優勝は荒川商業、2位が日大豊山、3位が筑波大附属です。1部参入戦は、立教池袋、京華、巣鴨の3チームで行い、2チームに1部昇格権が与えられるということだったんですが、立教池袋と京華が1部に上がれるということが決まりました。

○2部リーグMVPについて

中塚：2部リーグの方は全部終わったので、2部のMVPを今ここで確定したいと思います。いかがでしょうか。

蓑輪：優勝の荒川商業から出せるとするならば、堀江人志という選手を推薦したいと思います。第1戦の日大豊山 vs 荒川商業で、後半残りのもうない所まで0-1で荒川商業が負けておりました。ロスタイム、最後のコーナーキックから全員上がれということで指示を出しました。そこで同点に追いつ

いたシュートを決めたのが堀江人志です。第2戦で筑波大附属に1-0で勝ったんですけれども、その同点ゴールがなければ負けが決まっていたということで、MVPに推薦をしたいです。

中塚：どうでしょうか。よろしいですか。

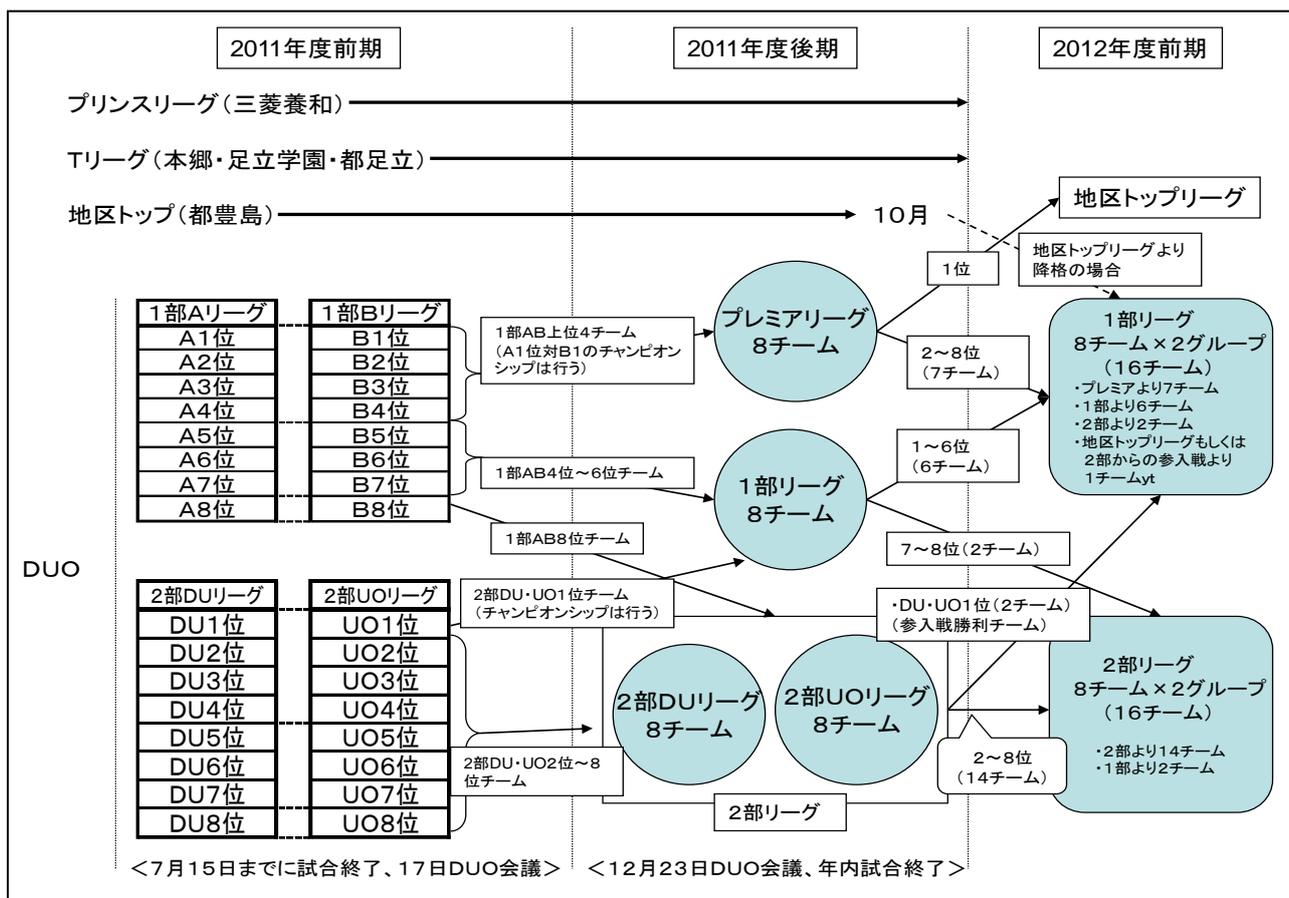
→ 全員拍手（承認）

議題Ⅲ. DUOリーグ・スタッフ会議報告&審議

1. 2011年度のリーグ編成・期間と昇降格の考え方（スタッフ会議報告資料参照）

中塚：ではスタッフ会議報告の方へ移ります。2月22日18時30分から約2時間、筑波大学附属高校の体育教官室に、チェアマン、事業部長、企画部長、管理部長、事務局長、スキンプロジェクトの土谷さんが集まって打ち合わせしました。まず1つ目の議題です。「2011年度リーグ編成・期間と昇降格の考え方」。その下の文章はすでにメーリングリストで流したもので、ご意見のある方はあらかじめメールで提案または、当日参加してくださいということだったんですが、特に提案もなかったもので、こちらで用意した原案で話を進めました。

原案を絵で描くと、次のようになります。



中塚：まず全体的な作りですが、プリンスリーグに三菱養和が行っていますが、来年度からは全国リーグになります。リーグ名は何というのですか？

山本：プレミアリーグイーストです。東日本で10チーム、西日本も10チームで構成されています。ホームアンドアウェーで試合を行うので全部で18試合です。

中塚：ちなみに参加費はどれくらいなんですか？

山本：特に参加費というところでは、まだ来ていません。

中塚：まだ来てないというのは、これから来るんですか？

山本：プリンスリーグ次第というところなので。

中塚：また分かったら情報を流してください。次に、Tリーグに本郷、足立学園、都足立が、そして地区トップリーグに都豊島が入っているということでもいいですか。それで、要はその下のところをどうするかです。1部16チーム、8×2で構成しようというのは前回の会議で決まっています。基礎調査を見て、2部の方も8×2でいけそうだという見通しがあります。

その上で、次のように考えました。

前期リーグは、1部2部の各ブロックで1回戦総当たりの試合をやります。後期は、1部の上位と、1部の下位に分かれ、1部の下位には前期の2部リーグの上位2チームも入ってくる。逆に言えば前期の1部リーグ下位2チームは降格するという形で、その部分で再編し、プレミアリーグ8チーム、1部リーグ8チーム、その下に2部リーグとなる。後期のチーム数が分からないので2部リーグがどのように構成できるか現時点では未定ですが、2部は平行する複数のリーグで進めていったらどうかということです。広い意味で「1部リーグ」と言ったときに、プレミアと1部が含まれます。

この形をとった場合、上位にある「地区トップリーグ」に直結するのはプレミアリーグです。そこで競技タイムなどのレギュレーションについては、プレミアリーグはその上のリーグとかなり近いような形で設定することになるんじゃないかと。どういうことかということ、今DUOリーグは自由な交代を認めています、おそらくプレミアリーグでは、交代人数や回数もある程度制限するような形でやるのかなということです。

その先ですが、プレミアリーグの1位になったチームが昇格を希望すれば、翌2012年度前期に地区トップリーグに昇格します。そしてプレミア、1部、そして2部からの昇格チームを加えて再編成し、2011年度前期と同じように、8チーム×2グループ、16チームで1部を構成し、2部も、エントリーするチーム数にもよりますが、並列するリーグを行っていったらどうかということです。

2011年度のスケジュールについて、前期末は7月18日（海の日）ですが、その週から合宿に行くチームがあるため、17日にDUO会議を行う。ここ数年そんな形になってます。この日に1部と2部のチャンピオンシップ及びイベントデーとするので、前期リーグの試合は7月15日まで。後期末も、天皇誕生日にDUO会議をやることは定着しているので動かさませんが、リーグ期間に関しては少しゆとりを持たせていいんじゃないかということでしたので、年内オクケーとします。ただしリーグ期間をいつまでも引きずるのはよくないので、年明けの試合はノー、という形で行いたい。

ここまででどうでしょうか。選手資格のところは次議論しますが、リーグ構造と期間のところ。質問も意見も含めて。事業部門から、あるいはスタッフ会議に出ていた丸山先生から補足などあればお願いします。

江口：2部にエントリーしているチームは、1年間で地区トップリーグまで行けないということですね。今までの形では、いけるが来年度はいけないということですね。

中塚：一見すると、後期は3部構成みたいなことになっているけど、考え方としてはプレミアと1部が広い意味での1部リーグです。なんでそんなことを言うのかということ、特別枠選手の問題は2部

リーグのみオクケーとなりましたよね。1部リーグではなしです。なので、前期もそうですが、後期の1部とプレミアでは特別枠選手は使えない。さらに、プレミアリーグのレギュレーションは、もう1つ上位となる地区トップリーグのレギュレーションとある程度合わせる必要があるのではないかとこのところでは。いかがでしょうか。

土谷：スキンプロジェクトから質問ですが、1部優勝のトロフィーはどこに渡すのですか？

中塚：後期1部の優勝トロフィーは、プレミアリーグの優勝チームに渡します。

江口：例えば、2部リーグのグループ数が3つあった場合は、優勝しても上に上がれないチームがいるということですか？

中塚：可能性はあります。チーム数が多くなって3グループになった場合については、またそうなった時に相談しましょう。

江口：そこは、例えば3チームが上がるような余裕を持たせるようなことはできないのですか？

玉生：これは今思いついた案なんですけど、1部リーグは16チーム抱えているんですから、2部リーグ3グループできたら、それぞれの優勝チームが上がる方がいいなと僕は思います。だから、1部7位同士のところが戦って、負けた方が落ちるといいかなと思います。それか、後期の1部リーグを9チームにするか。でもそれはしない方がいいと思うので。前回も遠藤先生から反省点として挙げられていたと思うんですけど、優勝したのに昇格できないリーグって何ですかと。8分の3だからちょっと抵抗あったんですが、16分の3落ちるっていうのであれば、それはアリなのかと。

中塚：後期に関しては、地区トップからも落ちてくる可能性がゼロではないので、それによっては玉突き状態でもうちょっと降格数が増える可能性もありますね。その時に、どちらを優先するのかっていう話なんです。下から上がる方を優先で考えるのかどうか。Tリーグや地区トップから落ちてくる数っていうのは、その年によって違うので。2部リーグが後期、何ブロックになるかは、やってみないとわからないですね。

江口：3ブロックだったときに、2部からの昇格は2チームなんですか？やはり優勝したら昇格できるのが普通だと思います。

中塚：そこはいろいろ考え方がありますね。例えば、3ブロック作ったけど1つの塊は6チームだった場合、試合数は少なくなるわけで、その場合はプレーオフをして順位づけをし、その上位2チームが昇格するというのも合理的な考えだと思います。総当たりリーグをやって1位のチームが上に昇格できるというのは、オーソドックスな考え方としてありだと思いますね。どうですか。基本的にこのような形で進めていくということで。よろしいでしょうか？

→承認

○参加選手の資格（第31回DUOリーグ実施要項案参照）

中塚：次に参加選手資格についてです。これまで同一クラブ内であれば、別のリーグでも半分なら出られるという、ゆるやかな形で対応してきました。しかしこれからは、同一クラブで複数のリーグ

に参加チームを持つ場合、参加選手資格を明確にする必要があるのではないかとということで、スタッフ会議で議論しました。そしてそれを実施要項にどう落とし込むかということなんです。

今年度いっぱい終わった E リーグでは、E リーグより上位のリーグに常時出場していない選手であることというような書き方にしています。次の実施要項の案をご覧ください。昨年 of 前期リーグのものに手書きで書き加えました。今言ったところは、左側の「参加チーム資格」。選手のところに「原則として 18 歳以下の選手で構成される」と言うのを入れました。それから特別枠のところ、「2 部リーグにおいては」というのを入れました。右側の「プレーヤー資格」「2. DUO リーグへの登録手続き」の「2) 移籍」の項目に、補足として、「上位リーグの試合に常時出場しているプレーヤーの出場は原則として認められない、という 1 文を入れてはどうかと考えています。まだゆるやかな紳士協定であるというのは、読んでみてわかると思うのですが、当面こういう形で、従来よりも一歩踏み出した形で、趣旨を文章にしてみました。

玉山：1 部に 2 チーム出ているんですが、同一リーグの場合はどのように考えたらいいでしょうか。A チームで登録したけど出るか出ないかわからない選手が、例えば B のほうでレギュラーだったとして、その子がじゃあトップチームでも使えそうだなっていう場合、こういった移籍というのは名前を確実に乗せなきゃいけないんですか？ 名前が載っていないと出ないということなのではないですか？ 両方に名前を載せて半分出場するとか、チーム状態でそういうことはできるのでしょうか？

中塚：まず、プログラムをつくる時点で、両チームに名前が載っているプレーヤーはあり得ません。これは以前からそのようにしています。どちらかに名前を載せてもらい、その上で、もし A チームであまり出番がないという場合、DUO のルールでは半分だけなら B チームに出ていいよっていうルールにしているわけです。基本的には、今後もそういう形で行きたいなと。

玉山：A チームに登録したら、もし試合には出られなくても B チームのほうの試合にも半分しか出られないということですか。

中塚：そうです。これまでもそうでした。

玉生：住み分けはしっかりして欲しいと思います。

玉山：1 年間そういう風にしなければいけないんですか？

中塚：1 年間ではなく半年です。前期は前期で。そういうリーグ期間なので。

玉山：それであれば、半分出場できるというルールもなくっていいのではないですか？

中塚：手書きの部分がなくていいということですか？

玉山：登録した選手がその通りに出るべきだということですよ。

中塚：そうです。昔からずっとそうなんです。

玉生：T リーグとかに登録された選手については、DUO リーグの名簿に乗っちゃう可能性はあるんですよ。T リーグは全員登録しちゃうので。

中塚：そのあたり、チームの選手数っていうのが、我が国の場合非常にあいまいな形で来てしまっています。1チームに40人50人いるなんていうのは、本来はあり得ない。だけど上位のリーグはそういう形でやっているから、TリーグにもDUOにも名前があるっていう変な状況が続いている。いずれそのあたりも解決していこうと思います。この手書き部分を織り込んだ形で実施要項を見直す。理念は今言ったことでよろしいですか？

岸(弘)：うちをご存じのように、平均年齢が高いので、この資格、登録のところで特別枠選手19歳以上3名までには触れてしまいます。これを守ると2部リーグにも参加できないことになってしまうのですが。

中塚：西巣鴨の場合は、DUO会議で承認されているのでいいんです。

岸(弘)：「原則として」と書かれているのならいいのですが。

中塚：左側の「参加チーム資格」のところには「原則として」と書いてあるけど、右側にも入れた方がいいのかな？

岸(弘)：ないとちょっと。19歳以上3名って明記されちゃうと出場しにくいです。

中塚：具体的にどこをどうすればいいですか？

岸(弘)：「原則として」というのを、「但し」の前に入れていただければそういう解釈はできるかなと。それがないと、3名という枠が出場で決められてしまう。

中塚：西巣鴨の場合は特例なんですよ。そのことを補足に入れればいいのか？

岸(弘)：それはそれで構いません。

中塚：そのほうが良いかもしれないですね。ほかのクラブは全部これが適用されるわけですから。ではどこかに西巣鴨の事を、補足か注の形で入れるようにします。その方がすっきりしますよね。

蓑輪：1部に上がれなくなる、1部に上がる権利は有しないということですよ。

中塚：つまりこうなった時点で西巣鴨の1部昇格はなくなるのかな。権利は有してたんですが…

岸(弘)：でも辞退しました(笑)。やっぱり高校生がトップリーグに上がったほうが良いですし。でも1部に上がるということは、プリンスまでつながるということを考えれば、私たち特別枠が行けるのはおかしいかなと思います。

中塚：というような考え方が分かるように実施要項を整備します。チェアマン預かりとさせていただきます。よろしいですか。

→ 承認

スタッフ会議の1つ目の議題を終えました。リサイクルプロジェクトは最後でいいよね。

じゃあここまで来たところで、各部門から2010年度の報告と2011年度の審議。いろんな準備の

話が出てくるとと思いますが、そちらに移りたいと思います。

議題Ⅱ．各部門より：2010 年度報告・2011 年度審議

1. 事業部門（玉生事業部長）

1) 競技部（各リーグ責任者）

玉生：2010 年度報告はもう済んだということで、2011 年度に向けての準備ですが、資料をメーリングリストで流しました。1 部のグループ編成をこれでよいのかということをお聞きしたいです。2 部に関しては参加チームが確定したのでしょうか。事務局長のほうからお願いします。

岸(卓)：巣鴨高校については 2 チームから 1 チームに変更してほしいとお願いがあったので。今の 8×2 からマイナス 1 で 15 チームですね。

玉生：これは中大を加えても 15 チームですか。

岸卓：それは聞いてないです。

玉生：中大はまだ加盟が認められていない状態ということですよ。中大高校の加盟が認められれば（→会議後半で承認された）16 チームになって 8×2 リーグ。そのグループ編成は早急につくって流したいと思います。1 部の予定が決まり次第、2 部リーグの日程調整を行うという流れになります。基本的に前期リーグは 4 月 1 日からですが、3 月末から試合をやってもかまいません。リーグ編成が決まりましたら、各グループで役割分担も決めてもらい、それをメーリングリストで流してください。

中塚：まず 1 部リーグのところ、このグループ A、B でよろしいですか？

→ 承認

玉生：もう 1 つ。ネーミングの問題が、トップのほうでも話をして出ています。例えば足立学園は、DUO リーグの中で 1 番上のチームが「足立学園 A」になっていたけど、このことを知らない人から見ると、トップチームが DUO にいるんだと思うでしょう。トップチームは T リーグにいるわけで、ここに A っていうのを使わずに、別の名前を付けてもらえると、いろんな人が見たときにトップチームじゃないんだなってわかると思います。チーム名は誰が見ても分かるようにしてもらえたらなど。

中塚：ぜひそうしてもらいたい。例えば日大豊山あたりはスペイン語でやっていましたよね。そうすると長すぎて枠に収まらないんです。足立学園どうですか？

伊藤：ちょっと考えてみます。

中塚：いずれにしても、試合結果を報告する際、A なのか B なのかまできちんとしてくれないと、いつも分からなくなるんですよ。プログラム見ればわかるんですけど、その前に記録各段階で AorB を書き加えればわかるので。それにグループ A、グループ B っていう言い方、何かいまいちですね。

玉生：上で U とか O とかつかうと、2 部で何を使えばいいのかなど。

中塚：いや、両方 DU と UO でいいんじゃない。それがスマートとも思えないけど。グループ DU が左、UO が右でどうですか。じゃあこれでいきます。この会議が終わってから、1 部については日程調整と役割分担をやってください。2 部リーグのチーム数問題は、加盟の話と関係するので、全部終わってからもう一度、中大さんに加盟の意思を聞きます。DUO の意思に賛同していただければ参加できます。

??：2011 年度の第 1 節はいつですか？

玉生：4 月 1 日からということですが、3 月末から始めてもらってかまいません。

??：それは統一はしない形で…

玉生：1 部は、3 月末の最終週が第 1 節になるでしょう。

??：そうですね。やるとしてもそのくらいになると思います。

中塚：それは 1 部で集まったところで相談しましょう。書き物レベルでは 4 月 1 日とします。

2) 審判部 (◎城西・文京・巣鴨)

嶋野：3 月 13 日に審判講習会をやります。申し込んでいただいた方は、フラッグと、下敷きのようなものを持ってきて頂ければ助かります。申し込み人数は現在 37 名です。

中塚：37 名は少ないですね。去年までは 70 人くらい来てましたよね。

嶋野：まだ追跡はしてないんですが、明らかに、ユース審判を前面に押し出した関係で、ユースではない方で受講される方が非常に少ないようです。実は DUO リーグと関係のない大人の方から、お願いしたいって電話が何件かあったのですが、DUO リーグ関係者限定なのでというお話をさせていただきお断りしました。それも原因の 1 つではないかと思います。ユース審判の希望者が少ないっていうのはわかりません。JFA がウェブ上で管理するサイト「キックオフ」では、所属チームまではわからないが、U15, U18 までは分かります。

中塚：クラブ名まではわからないということですか？

嶋野：はい。

江口：今から追加は間に合わないですか？

嶋野：間に合わせることは可能です。

中塚：そうしたほうがよい。こっちも去年の事があって、100 名くらいまで対応できるようにしてるから。毎年毎年人数が変わるようでは、会場を提供している方としても困る。

嶋野：ルールブックの発注もあるので、今日できればお願いします。

3) 技術部 (◎郁文館・豊島・小石川)

井上：3月13日の審判講習会がある日の午後に、審判部と打ち合わせをして、どういう風に進めるのかまだ分かりませんが、DUO 選抜を実施します。前回実施した形で、各リーグ1チームずつそろえていただき、4チームで行きたいんですが、以前はEリーグへの連絡が遅れてしまって、Eリーグ所属の3チームからのメンバーをうまく集まるできませんでした。今回、Eリーグで単独チームを作れるかどうかで、4チームで行くか5チームで行くかというところです。今分かればいいんですが、もしこの3チームから数名という場合であれば、1部のほうに混ぜさせていただけないかなど。4チームで総当たり、20分を6試合、2時間ぐらいで行えればなど。詳細はメーリングリストで流していきたいと思います、まずは各リーグの技術担当の先生は、13日に実施しますので各リーグ1チーム15~16名くらいで作れるようにお願いします。

中塚：2010年度後期の役割分担、リーグ編成で行う計画ですか？

井上：はい。今年度後期のでいきたいと思います。

中塚：今は新年度の準備を進めていく段階です。もう終わったリーグの選抜をつくって対抗戦形式で行うことにすごく違和感があるんですけど。もし作るのであれば、今日の午後が空いていたので、そこを利用して何かするのかなって思ってたのですが…。3月13日は、前の年度も終わってるし、まだ新年度も始まってないから、リーグごとの対抗はやりにくいのではないのでしょうか？

井上：後期リーグなら選抜チームを作りやすいんですが。もし違和感があるのであれば、リーグの、本当に交流を目的として、来た人数に応じてチームを編成して、審判講習があるので、試合形式で行いたいと思います。今回の技術のところでもう1回話をしてメールします。

中塚：再来週の話だから今週には出してください。

長山：すいません。技術部として昨年度からやらせてもらって、交流を目的に1日限りのチームを集めて試合しているんですが、それをやることにどういう意味があるのかなと疑問に思っています。昨年度は、例えば平日の夜に集めてやったりとか、イベントデーのときにミニゲームをやったりだとか、いろいろ工夫してやってはいたんですが、選手のモチベーションが低く、あまり積極的に参加しているようなチームが見られないという現状があるのかなど。なので、交流を目的とするというのが難しく、1日限りの寄せ集めのメンバーで練習試合をして、よそよそしいまま、なにかこう盛り上がり欠けるというか、それをどうしていいのかなっていうことを考えています。これをやる意味自体があるのかどうか。2年間やらせていただいたんですけど、成果があまり見られないような。そこでご意見をいただきたいんです。チームとしても、選手を出すことのやりづらさもあると思います。選手を出す側の先生にもご意見をいただきたい。やるならやるで、意味のあるものであってほしいし、意味がないものであれば、結構大変なので。

小金丸：意義とかそういうことではないのですが、小松川高校の田代先生から、リバーサイドの1部の選抜とDUOの1部の選抜で7月17日に試合をやらせてもらえないかと打診を受けています。この前トレセン会議があって個人的に打診を受けたものです。リバーサイドはどういう風にメンバーを編成するのかというと、各チーム1人ずつ出してもらおう。そうすれば、当日他の練習試合があっても1人くらいなら問題はないだろうと。そういうのをお互いに、チームの活動に支障がないくらいでやっていく形でどうなのかなど。長山先生の質問から外れてしまうかもしれませんが、リバーサイドから打診を受けているということで参考まで紹介します。もしこういった形でできる可能性

があるならば、選手のモチベーションや参加する意義が違う意味で捉えられるのかなと。ただし 1 名とは言ってもなかなか参加いただけないのも現状だと思います。ただ、1 名出してもらえるのであれば、いろいろと広がっていくのかなと思います。

長山：3 月に関しては審判講習会との絡みもあるので、何とか試合をできる形を作りたいと思いますが、今後の DUO 選抜交流会の在り方についてはまた話を進めていかなければいけないかなと。各チームで選手を送る意思っていうのか、お前は試合に出られないから行けっていう形になると、こちらとしても厳しいので、その辺をしっかりとできるのであればやる意義はあるのではないかと思います。そういう共通理解を得られないまま、寄せ集めの、1 日限りの試合を行うのであれば、また考えなければいけない。**3 月に関しては、2 週間を切っているので、リーグは関係なく、できれば選手を各チーム 2~3 名出していただき、その場で集まった人数でチーム編成をして、審判講習会が滞りなく行えればと思います。**7 月に関してはまた考えて連絡をさせていただきます。

中塚：2~3 名限定ですか？ もう少し出してもいいのでは？

長山：本当に交流が目的であれば、少ない数で複数チームから出していただければいいのですが、最近の現状ではかなりばらつきがあり、なかなか出せない時期や事情もあるので。チームからの人数をメールで流していただいて、もし少ないようであればまた声をかけたいと思います。

中塚：2 段階で募集するということですね。

??：審判講習を受ける生徒以外でってことですよ。

長山：はい。とりあえず 2~3 名で募集ということでお願いします。各クラブなるべく早い反応をお願いします。リバーサイド選抜との話もありましたが、非常に面白い企画だと思います。今度集まった者にも説明し、この中から選抜してリバーサイド選抜との試合があると言え、選手のモチベーションも変わるのではないかな。

小金丸：今決めちゃえばいいんじゃないですか。せっかくここで集まっているんだから。各チームのレギュラー 1 人。1 人だったら影響はないと思うんです。必ず各チームからレギュラーが来るっていうことになると、子どもたちのモチベーションも上がると思います。1 人必ず出してください。リバーサイドに聞いたのは、ポジションがかぶっちゃった場合は、選抜の責任者が、このチームはキーパー出してとか。まず何人出せるのか、どこの選手を出せるのかっていうのを見て、キーパーがないので出してくださいっていう感じで。調整は大変ですが、そういう風に調整したらいいのでは。とにかく誰が来るのかわからないっていうよりも、レギュラー 1 人お願いしますっていうほうが良いのではないかな。

中塚：逆に、3 月 13 日に出せないクラブはあるんですか？ クラブや学校の行事とか。そういうのを今集約すればいいんじゃないですか？

→ 3 月 13 日に選手を出せるチーム

小石川、昭和第一、京華、筑波、学習院、城西、郁文館、駒込、巣鴨、独協、淑徳巣鴨、足立学園、文中選、FC 西巣鴨

長山：14 チームありますので、2~3 名ずつ送っていただければ 3 チーム位できると思います。審判

講習会のほうは何試合くらい必要ですか？

嶋野：今のところ受講者は37名です。逆に試合数を言っちゃって大丈夫ですか？

長山：最低何試合必要かと言っていたら、

嶋野：まだ講師の先生と話し合っていないので、何時から始められるかはわからないんですが、基本的な流れは去年と一緒のタイミングで始まると思います。

長山：3チームあれば2～3試合できると思います。メーリングリストに選手の名前を送っていただきたいです。お願いします。

2. 管理部門（神宮司管理部長）

1) 経理部（◎豊南・向丘・足立学園）（2010年度各費用支払状況、2010年度DUOリーグ決算書参照）

池上：持ってきた資料は、2010年度の各費用支払い状況、DUOリーグ決算書、主催・審判費支払い一覧です。各費用の支払い状況ですが、25日までに入金確認ができたところに金額を入れました。金額が書いてあれば入金確認されていることとなります。網掛けがあつて、金額が書かれていないところがまだ入金されていないところとなっています。なるべく来週中によりしくお願いします。

その隣の決算書（仮）は2010年度末での収支報告になります。まだ（仮）なので、支払いがなされていないところがまだいくつかあります。よって、収入が増えるということと、2010年度に行われた審判講習会からの収益というのがまだ含まれていないので、その分は入っていません。支出のほうはだいたいこのような形です。今日、この会議終わりましたら、主催と審判費用の支払いがあります。各リーグの会計から上がってきたものをまとめました。帰りにこちらまでお願いします。

神宮司：まだ費用の振り込みがされていないクラブは、大至急お願いします。

中塚：1つ質問ですが、支出の部の審判服の金額が出ていないのは支出がされていないのですか？

池上：これに関してはまだ執行してないです。

中塚：前期の優秀審判は7月の話だし、これに後期の分も入りますよね。

池上：入ります。後期の分とまとめてからやることとなります。

中塚：特に表彰関係は、時期がずれてしまうとぼけてしまうので、前期は前期、後期は後期で速やかに対応してください！

土谷：スキンプロジェクトが去年のままになってるので、今年度のスキンプロジェクトでかかった経費について報告します。別途用紙を見てください。今季のスキンプロジェクトの講座。（ ）の中が間違っておりますが、3回開催しました。

※別紙参照

変更点：収入の部スキンプロジェクト：21288円→8845円

支出の部スキンプロジェクト：400000円→291795円

神宮司：スキンプロジェクトからの報告がありましたが、他にありますか。

池上：審判服に関しては早急に手続きを取って手配をしたいと思います。

中塚：次年度送りになると思うけど、3月に東京都のフットサルの10周年記念報告書を作ってそこに広告を掲載します。次年度には広告費という項目が出てくるのを頭に入れておいてください。

神宮司：確認です。その件と3月13日の審判講習会については次年度に報告をさせていただきます。

玉生：以前メーリングリストで流したんですが、Eリーグの返金分があります。

追加分：収入の部Eリーグからの返金分：40697円

2) 広報部 (◎淑徳巣鴨・日大豊山)

神宮司：広報部からメーリングリストですでに流れてますが、次年度のプログラムに関しては3月19日が締め切りになっています。室橋先生から案内があったと思いますが、DUOリーグ・プログラムの新しいフォーマットを用いるということなので、お間違えのないように。

3) 規律部 (◎豊島学院・京華)

北爪：早川の代理です。12月の会議の際に、後期リーグで審判に対して侮辱する発言をして退場になった選手を会議に出席させ、学んでもらうという処置をとりました。そういうことも含め、状況をしっかり確認したうえで指導していくことを今後も行っていくと思います。以上です。

3. 企画部門 (丸山企画部長)

丸山：企画部門ですが、2010年度の報告は12月の会議のときにやりました。何か報告をしたいという方がいらっしゃればお願いします。

医科学活動推進部 (◎江北・養和・本郷)

玉山：医科学部門です。テーピング講習会でリゾスポの藤原さんにお世話になっておりますので、ごあいさつのほうをお願いします。

藤原：只今ご紹介に預かりました藤原です。2月2日、本校にてDUOリーグテーピング講習会を開催させていただきました。約40名弱の生徒が参加して、1時間ぐらいやりました。参加した生徒は積極的に取り組んでくれましたので、身になるものになったのかなど。ほかにもいろいろな企画がありましたらやらせていただきたいと思います。

議題Ⅲ. DUOリーグ・スタッフ会議報告&審議

2. 2011～2012年度の運営組織

中塚：リサイクルプロジェクトのところも絡めながら話していければと思います。DUOリーグ組織図を見てください。今までは左側の形で、2年任期で少しずつ修正をしながらやっています。2010年度末でちょうど2年任期が終わるので、担当を見直します。まず大きなところでいうと、各部門の長ですが、神宮司さんが、諸般の事情で部長職を続けるのが難しいとのことで、いろいろ調整の上、いろんな仕事をしっかりされてきた文京の梶山さんに管理部長をお願いすることにしました。以下、事業部門、企画部門、管理部門は表のとおりで、◎がついているところがチーフ、それ以外はサブということで提案いたします。ここに名前のないクラブで、この仕事をやらせてくれという

希望があれば聞きたいです。特になければこちらで割り振ります。審判部は継続で大丈夫ですか？

嶋野：はい。

中塚：どこかサブに入ってほしいクラブがあればリクエストしてください

嶋野：中塚先生がよければ筑波大附属でやっていただきたい。

中塚：チェアマンとの兼任は無理ですね。小石川の技術部はどうですか。郁文館がしばらく◎でやっていたから、次は小石川かなと。これまで豊島、郁文館、小石川ときているのは、地区選抜スタッフのクラブということで、そこに関連付けて DUO 選抜を活性化させたり、トレセン活動とうまくリンクさせたりできればという意図でした。経理は豊南に2年間やってもらいましたが、豊南の中で人が入れ替わって大変だったと思います。長い目で見て、次は足立学園かなと。Eリーグの会計処理を見てると、伊藤さんはさすが事務のエキスパートだなと。経理は豊南から足立学園への引き継ぎのタイミングをうまくやっていただいて、◎をどっちにつけるか、ご相談いただければと思います。広報も淑徳巣鴨がやる気満々なので、引き続き◎でやっていただこうかなと。規律部はどうですか？

小金丸：さっき技術のほうで地区選抜との絡みもという話があったんですけど、今年度は玉山先生が地区選抜の監督をやり、来年度は小島先生が監督になると思うので、できれば小島先生の豊島学院を技術に持っていけばよいのではないのでしょうか。すると京華なんですけど、以前に規律をうちがメインでやって豊島学院がサブでやっていて入れ替わったんですけど、よく以前の問題とか相談も受けていたので、もし豊島学院が技術部に行くのであれば、京華が規律部でいいと思うんですけど。

中塚：ぜひもう一度やってください。いまこの図に名前入っていないのは、外れているわけではなくて、これからどのクラブも入っていきます。特にご意見がなければ、こちらで割り振らせていただくということです。医科学のところですが、企画部門というのは何もない所から作りあげていくところなので、結構大変だと思います。医科学はずっと江北が担っていたけど、これは企画部長から言ってもらった方がいいかな。

丸山：はい。今お話がありましたように、企画部門はいろんなアイデアを出してもらって実践するっていうことが必要な部門になります。私の方から、医科学活動推進部は、私と同じ敷地内で仕事をしている郁文館の井上先生にぜひ、ということで先日のスタッフ会議のときに指名させてもらいました。今まで以上に企画を立てて、養和の施設やノウハウ等も入れながらやっていければと思っています。

中塚：養和と本郷は隣同士なので、色々かかわってもらいながら、研修会等も含め、ぜひ新しい提案をしていってもらえればと思います。よろしいですか。

議題Ⅲ. DUOリーグ・スタッフ会議報告&審議

3. リサイクルプロジェクトの推進

中塚：次はリサイクルプロジェクトと地域活動推進部というところで、土谷さんお願いします。これについてもすでにメーリングリストでも流れていて、この間のスタッフ会議で議論したものです。

土谷：メーリングリストですすでにご案内のとおり、カレンダーはなしにして、別のやりかたでやっていこうと考え、素案をつくりました。今年度までカレンダーを作ってきましたが、企画部門の中でしっかりしたミッションを与えられて、取り組んできたんです。DUO リーグから社会に向けて発信していく企画と一緒に考えていこうというのを中塚さんから依頼されております。私たちの取り組みが、受注発注のような関係になるのがすごく嫌なので、ぜひ DUO リーグの各指導者、選手を含め、DUO リーグからどうやって社会に向けて発信していくのがいいか、理想としては一緒に考えていけるような仕組みがいいなと思っています。

3年前の「トロフィーがない！プロジェクト」にはじまり、そこから「スキンプロジェクト」に展開していきました。「スキンプロジェクト」のスキンというのは、皮（スキン）を再利用していくということから命名しました。しかしあまりにも専門的すぎて、メッセージが伝わりにくいものであったのではないかと見直しました。学生も3年ごとに変わっていきます。認知されたころには卒業していなくなってしまう。べたな名前の方が認知されやすいのではないかとということで、「リサイクルプロジェクト」と名前を改めました。

どういうことを柱にしていくのかということですが、やはり「スキンプロジェクト」から継承した、サッカーの廃材（履けなくなったシューズや使えなくなったボール）を、違うグッズに形を変え、もう1度世の中に発信していくということは、DUO リーグの「トロフィーがない！プロジェクト」から生まれた発想なので、大切につなげていきたいと思っています。昨年末に岸事務局長がいくつかの学校を回って集めて頂いたんですが、DUO リーグの廃材は、昨年末には底をついております。なので、DUO リーグから廃材（素材）をもらい、靴磨き講座ではコインケース作りなどのワークショップを実施しているというサイクルが、上手く回っていないと感じます。

そこで、回収袋を各クラブに配布すれば、集まりやすくなるのではないかと。あるいはクラブ側も参加しやすくなるのではないかと考えました。このプリントにあるように、靴用、ボール用の回収袋を作ります。回収袋は安価で丈夫なもので、1枚 20～30 円です。これに私たちの方でプリントを施して各クラブに2枚ずつ配ろうと考えています。そして各クラブで、履けなくなったシューズや使えなくなったボールを回収袋に入れてもらう。配るタイミングは、7月のアウォーズのときに配布し、12月のイベントデーのときに回収する。それが年間を通じた基本的なサイクルになれば、毎年決まった量が集まり、先を見通した活動にもつなげやすいのではないかと思います。

去年も一昨年も集めましたが、体育館シューズが入っていたり、泥まみれのものや腐りかけているものが入っていて、正直困りました。そういうところの、用具の使い方のマナー向上も含めて、それからまた新しい何かを生み出そうというわけなので、靴磨き講座を実施しているのでそれに各クラブ積極的に参加してもらって、その時にゴミを持ってきてもらって一緒に磨くとか、そういったことでマナーの部分も向上できればなどと思います。

丸山事業部長からもスタッフ会議でご指摘があったんですが、プレーヤーから回収しても、プレーヤーに向けたアウトプットが少ないのではないかと。確かに、形として見えるものはトロフィーだけになっているので、なるべく DUO リーガーに向けたアウトプットも考えていきたいのですが、これはぜひ地域活動推進部とかと一緒に、年に1回は靴磨き講座とか何か一緒に取り組む場を設けられれば良いなどと思います。

昨年度から今年度にかけて、FC 西巣鴨とは実際に取り組みました。今年度の報告をすると、3歳の子もキーケースを作って持って帰っていました。子どもから大人まで、50名ほどが参加しました。DUO リーグから何か社会に向けての発信をつくっていく中で、西巣鴨の取り組みなどを参考にしてみたいかなど。

12月のイベントデーのときには、小石川高校が、卒業する先輩へのプレゼントとしてコインケースを作っていました。例えば、先輩の靴で先輩用のサンダルを作るとか、ピンポイントなアプローチもできると思います。卒業に向けた記念品を生徒たちと一緒に作るという取り組みも、各地域で

年末にでもやってみるとか、そういうこともできると思います。提携してきたクラブと日にちも管理していければと思います。

カレンダーは廃止します。廃止することで15万~20万の予算も確保できます。今回は回収袋を作るんですが、全てのクラブに行き渡る量を作っても2万円は超えないと思います。これがクラブに置いてあるだけでなく、たとえばサッカーショップKAMOに置いてもらうことで、DUOリーグがこういったリサイクルに取り組んでいるというアプローチにもなるのではないかと思います。

またホームページや、前後期のプログラムの中にも積極的にリサイクルプロジェクトのページを作って活用できればと思います。例えばDUOリーグとリサイクルプロジェクトが取り組んでいる出来事を、専用のブログを作ってDUOリーグのホームページからリンクさせるとか、そういった、お金がかからずに出来る方法もあると思います。

ぜひDUOリーグから社会に向けての発信をやっていければと思います。

中塚：お分かりいただけましたか？ 我々はサッカーのリーグなんですが、サッカーの地位というかスポーツの地位をしっかりと高めて社会に認知してもらうためにも、こういう活動はすごく良いし、必要だなと考えています。これは、他のリーグではまだやってないです。始めようとしているところはあって、たとえばFC東京や、あるいは大阪府の高体連とかが少しずつやり始めようとしています。我々は幸い、先頭に立ってこれに取り組める環境にあるわけで、どんどん進めていきたいと考えています。「地球にやさしいDUOリーグ」ですね。

土谷：パテントみたいなのをDUOリーグで管理してみてもどうかと。あともし今日、それで承認が出るのならば、例えばこの袋のデザインを募集してみたりできるのではないかと。

中塚：どうでしょう。前回のDUO会議のときのカレンダー問題に始まり、前回と今回の提案はまるっきり違うものなので、分からないこととかがあれば今言ってほしいです。

土谷：プレーヤーの人たちにもデザインにも取り組めるのであれば、やってもらって参加の幅を広げたいなど。

??：具体的にどうなるのかというと。各クラブでしっかりやることになるわけですね？

岸(卓)：これに関連することなんですが、高校生にリサイクルプロジェクトでこういうことが起きてるっていうのを報告したり、今度選抜交流会があるとか、高校生とDUOリーグの繋がりを強くするためにメルマガを作ってみてはどうかというのをスタッフミーティングのときに提案しました。今、メールリストは内部向けのスタッフで共有するものとしてやっていますが、直接高校生にお伝えできるものを出していく場として、無料で作れるのでメルマガとかを作ってみてはどうかと。プログラムの表紙にQRコードを付けておいて、登録すればすぐに情報が得られるようなものが作ればなど。

中塚：それも含めてどうですか？ 特に異論がなければその方向で進めていいですか？

土谷：デザインの募集については、どのタイミングで決めればいいのか難しいので、今年度はうちで作ります。

中塚：ちょっとずつやっていきましょう。

土谷：7月に配布します。

中塚：3月13日の審判講習会の日イベントデーでもあるので、そこで靴磨き講習会ができればいいかなと。難しいですか？

土谷：スケジュール次第ですね。

中塚：とにかく各クラブで靴磨きをやってもらうので、靴磨き講習会に出てもらわないとやり方が分からなくなりますから。

土谷：イベントデーについて触れてもいいですか。先ほども小石川の先生（長山先生）が言っていましたけど、プレーヤーのモチベーションが低いっていうのがあると思います。前回のスキンプロジェクトに30名ほどの学生が流れてきていましたが、やはりトップダウンで言われてきている感じはあり、自主的な参加を促すにはどのような仕掛けが必要なのかはDUOリーグ全体の課題でもあると思います。そういう意味で、高校生にメッセージが直に伝わるような方法の一つとして、メルマガの提案があります。今高校生がせっかくいるので、どうでしょうか？

三井：メールとかだと、結構携帯は日常生活で頻りに利用しているので、そういうのはかなりいいと思います。携わりやすいです。

中塚：あと、事務局長が7月でいなくなります。ケニヤに行くんですね。リサイクルプロジェクト関連の話は以上でよろしいですか。

土谷：リサイクルプロジェクトとしても、集めたシューズでまだ使えるものもあるので、ケニヤに送ったりとか、そういったこともいいなと思います。

中塚：もう一度組織図に戻ってもらえますか。そんなわけでリサイクルプロジェクト推進部。先導していくのは理事会ですが、地域活動推進部とからめながら、**各地区に担当者を置きたい**など。つまりそれぞれの区で、例えばいつも筑波大附属で靴磨き講習会をやるんじゃなくて、例えば足立区でやると足立区の高校生が来やすくなると。その地域でこの活動を展開する主たる担い手をどなたかをお願いすることになります。立候補があればありがたいのですが、そうでない場合はこちらからお願いします。それと事務局の今の話は、**事務局長をやっている岸さんが、9月から2年間青年海外協力隊で、海外へ出かけると。**赴任先がケニヤで、その業種が～。ここからは岸さんから

岸(卓)：青年海外協力隊員として2年間、ケニヤに行くことになりました。ケニヤの少年院みたいなところで、スポーツを教えたり勉強を教えたりすることになりました。

中塚：なので、それまではDUOリーグの事務局長としての仕事ができるけど、そのあとですね。たぶんケニヤでDUOのホームページを更新してと言っても厳しいだろうと思うので、事務局業務を誰かにお願いすると。そういうことも含め、組織力のある**FC西巣鴨に1つクラブ名として事務局のところに置かせてもらって。せっかく動き出したマネージャーシステム、ここをうまく活用しながら事務局機能を強化していきたい**など。ホームページをやっている本多さんの名前が入ってないので、こちら事務局のところにあってという次第です。

岸(弘)：そういった事情で当人も7月から2ヵ月間研修に入っちゃうので。実質6月いっぱいDUO

とは離れなければいけなくなると。また現地に行ってからどの程度通信ができるのかというのは分からないので。今日途中から来た三ツ矢君、今年大学を卒業して、4月から別の大学に通うという
ことで、時間的にも多少余裕があるということ、その辺のホームページの更新とか、事務局長が
やっていた部分をサポートできればと思っています。

岸(卓)：予算もいただいて、去年から結構やらせてもらっていて、その分ここで事務局を誰かに完全に渡してってということになると、前の例と同じように続かなくなってしまうということがあるので、私が事務局長という立場は維持しながら、三ツ矢君とかとある程度仕事を分担して進めていきたい
と思います。ケニアでもインターネットはつながるだろうということで、できる範囲の事務局の機能は維持しながらやっていきたいなと思います。それで、私が今まで慣れてきた部分があったので、少し連絡が遅い先生がいらっしゃったとしてもこちらからアプローチできたんですが、それが難しくなってしまうのかなと思っています。締め切りを守るとか、レスポンスを早くするとかいう部分で協力いただければありがたいです。

中塚：組織図のところは今入っていないところはこちらで調整させてもらって、皆さんの希望を優先させたいと思うので、会議が終わった後、あるいは個別にメール等で相談してください。次のプログラムができるまでには、これを確定させたいなど。以上で本日の議題は全部終了ですが、何か漏れ等ありましたら。

神宮司：管理部門からの確認をしてきたいのですが、来年度のプログラム原稿のことなんですが、もうメーリングリストで3月19日締め切りということでお伝えしたんですが、昨年度の12月の会議で、選手の一言欄のところ新しいフォーマットになっていますので、室橋先生から送られてきているもので必ず作ってください、お願いします。

中塚：最後に、「DUO リーグのあゆみ」という資料があると思います。これは、先ほどのDUOアウオーズで、10分ほどお時間をいただいて紹介したものです。ここでは繰り返しませんが、DUO選抜等のいろんな活動が、いろんな経緯があって今日に至っているのだというところをぜひ踏まえてください。今年度のスローガンは「歴史から学ぼう！」でした。2011年度のスローガンはまたこちらで考えて提示したいと思います。「リサイクルプロジェクト」が前面に出るようなものにしようと考えています。

○高校生オブザーバーより

三井：DUO 交流戦の話なんですけど、ほかの地区と交流することがあまりできないので、リバーサイドとの交流戦は興味深いものだと思います。そういう取り組みがこれから広がっていけば楽しいのではないかと思います。以上です。

遠山：知識が追いつかない部分があったんですが、自分たちがやっているリーグでこれだけの人が集まって議論している事がわかったので、良かったです。ありがとうございました。

議事録作成：三ツ矢岸卓巨

確認：中塚義実